

日中大学フォーラム 2010年1月29日

人材育成の新たな取り組み —APUの実践から—

立命館アジア太平洋大学 (APU)

学長

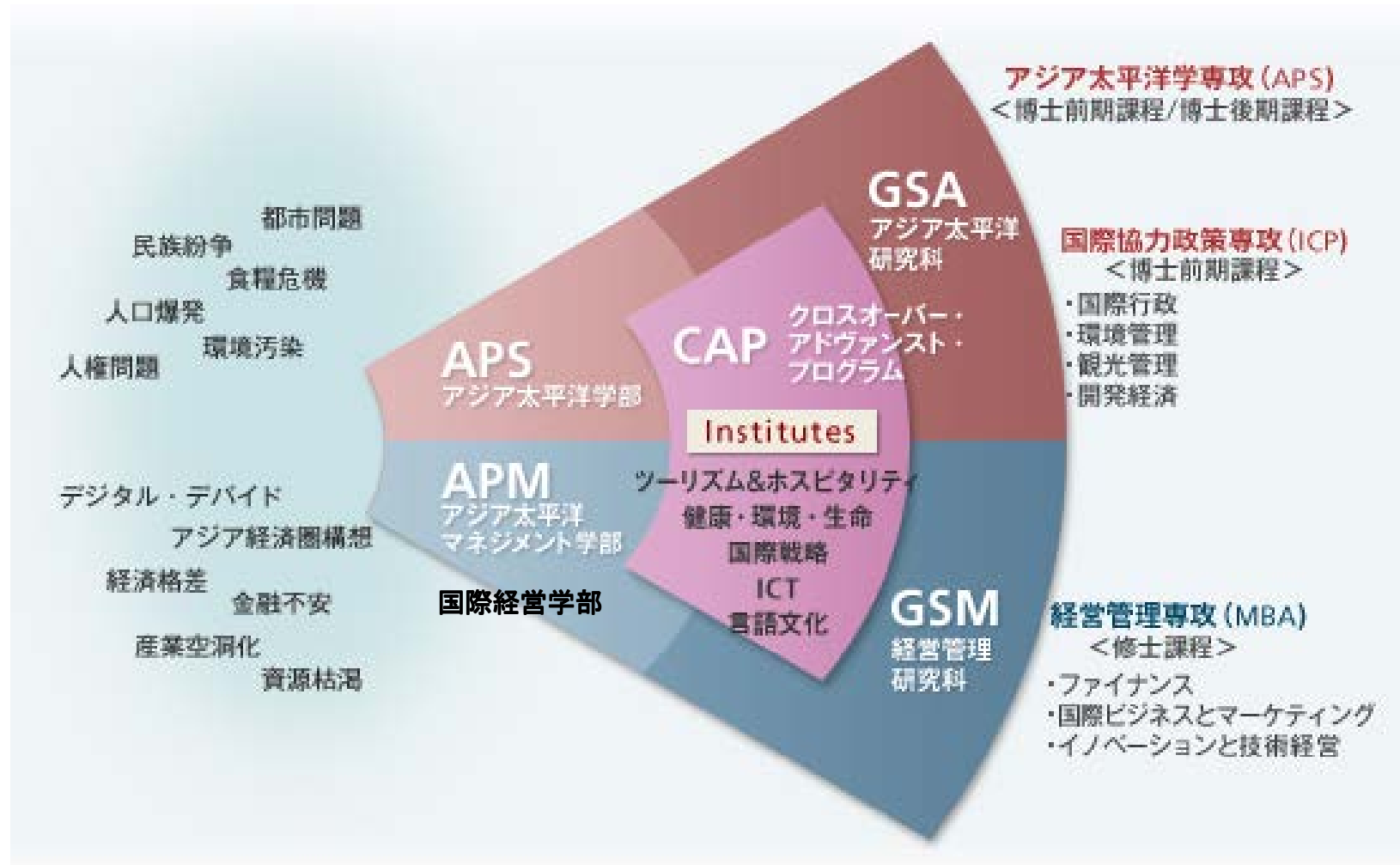
是永 駿



APU 2000~2010



APUの学部・大学院



(注) 立命館アジア太平洋大学ホームページより転載。APMは2009年4月1日より国際経営学部に変更。

多文化キャンパスの実現

■世界からAPUへ 97カ国・地域から2,924名の国際学生と3,238名の国内学生が学ぶ



- ・「日英二言語教育」 授業を受ける言語を「日本語」と「英語」から選択して学ぶ
- ・多文化・多言語キャンパスで身につく多文化理解、言語運用能力

APUのMission、Goal、Method

APUの理念

自由・平和・
ヒューマニズム

国際相互理解

アジア太平洋
地域の未来創造

APUの教育目標

1. 学士の国際通用性
2. 多文化理解能力
3. 言語運用能力
4. 進路・就職

実現のために

日英二言語教育

50%の外国籍教員

100カ国・地域
からの国際学生

教育システム
成績評価基準、シラバス、
クォーター制、単位授業料

国際寮の整備

9月入学

基本理念を具現化するための目標

■開学前にたてた目標…3つの「50」

- (1) 国際学生の割合 50% (現在47%)
- (2) 学生の出身国・地域 50カ国・地域以上 (97カ国・地域)
- (3) 教員構成(外国籍教員比率) 50% (現在約40%)



世界でも例を見ないマルチカルチュラル・キャンパス
多文化環境の中で学生が真に成長する教学創造



「3つの50」を実現するための 大学デザイン

■従来の発想を超えた大学デザインの必要性

- (1) 学年暦・・・秋入学への対応(年2回の入学・卒業)
- (2) 言語の壁・・・「英語基準」での受け入れ
- (3) 教育言語・・・日英2言語教育
- (4) 教育システム・・・「学生を学ばせきる」教育
- (5) 学生リクルート・・・世界中での学生募集体制
- (6) ライフサポート・・・国際学生寮、奨学金、キャリア支援
- (7) ネットワーク・・・地域、企業、大使館、海外大学、高校

APUの教育～「よく学ぶ学生」の育成

■学生が「よく学ぶ」ための教学デザイン①

* クラス規模の制限

⇒教員・学生の双方向性、学生参加、宿題、小テスト等

* きめ細かい成績評価制度

⇒期末テストの評価割合を5割以下に(ガイドライン化)

* GPA制度の積極的活用(学生のモチベーション向上)

⇒成績優秀者からの優先履修登録制度

⇒各種奨学金、留学プログラム、表彰制度等への利用

* 多彩な学習支援

⇒言語自主学習センター(SALC)、スーパー留学コース等

APUの教育～「よく学ぶ学生」の育成

■ 学生が「よく学ぶ」ための教学デザイン②

- * 集中的な学びを支えるクォーター制度
 - ⇒「月・木」、「火・金」での同一科目週2回授業
 - ⇒集中的な学び、節目・山場の多さ
 - ⇒クォーターブレイクを活用したアクティブ・ラーニング
- * セッション期間の有効活用
 - ⇒夏セッション、冬セッションでの集中講義
 - ⇒国内外からの著名な講師陣の招聘
- * 単位制授業料制度

APUの教育～言語教育

■国際的に通用する言語運用能力の育成

- * 1～2年次に徹底した英語教育・日本語教育
⇒到達目標の設定、トータル等スコアの成績反映
- * 国内学生：英語開講科目20単位の要卒化
⇒300番台以上科目はトータル500以上を要件
- * AP言語(中国語、韓国語、マレー・インドネシア語、スペイン語、タイ語、ベトナム語)
- * 国際学生・国内学生の交流を通じた語学力
⇒新入生科目、ゼミ、クラブなどで言語の「必要性」
- * 海外学習機会の提供⇒グローバル・アクティブラーニング政策
- * APハウスにおけるLanguage Learning Community(LLC)

APUの教育～初年次教育

■ 学習技法、異文化理解とコミュニケーション力

- * 学習技法の修得(新入生ワークショップⅠ)
- * 初年次教育での協働学習プロジェクト
 - ⇒「新入生ワークショップⅡ」の取り組み
 - ・国際学生、国内学生の混合チームの編成
 - ・「観察プロジェクト」「読みプロジェクト」等
 - ・地域での聞き取り調査
 - ・調査結果の取りまとめと発表
- * 「APU入門」の開設
- * 初年次異文化体験プログラム(FIRST)
- * マルチカルチュラル・ウィーク



APUの教育～多彩な学び

■学生の多様な関心と目的に応える教育プログラム

- * グローバル・アクティブラーニングの推進
 - ⇒ 交換留学、海外言語学習、フィールドスタディ、インターンシップ等
- * 立命館大学(RU)との教学連携プログラム
 - ⇒ 交流学生プログラム、英語教員免許プログラム
 - 現代日本研究プログラム(大学院)など
- * 多彩な「トップ講演会」、キャリア教育
- * 国際教育寮(APハウス)での教育的活動



APUの学生生活① 奨学金・アルバイト・健康管理

■奨学金

- ・学費減免制度(100%、80%、65%、50%、30%)
- ・日本学生支援機構奨学金(旧:日本育英会)
第一種(無利子) / 第二種(有利子) *4月募集(秋期に募集を行う場合も有)
- ・優秀学生奨励金・自主活動奨励金
- ・弔慰金・修学援助奨学金(父母の会)

■アルバイト

学生への経済面での支援として、良質なアルバイトは窓口で紹介
キャンパス内での雇用創出に努める

- ・授業での学生アシスタント
- ・情報機器インストラクター
- ・カフェテリアでのアルバイト など

■健康管理

- ・カウンセリングルーム
- ・ヘルスクリニック
- ・健康診断(年1回)



APUの学生生活② 住居・課外活動

■住居

- ・学生寮(APハウス)に1308室。
- ・関連会社「クレオテック」より、良質な民間住宅を斡旋。
- ・クレオテックの事務所はキャンパス内にあるため、空き時間に利用可能。

■アクティブな課外活動

- ・正課外活動団体150団体
学生の4割以上が加入
- ・海外の国際会議へも積極的に参加

サムルノリサークル
「シンミョン」
宮崎県で演奏披露



内閣府主催「アジア青年の家」でAPU学生20名が
チューター・ファシリテーターとして活躍



■世界の学生と共に国際交流できる学生寮をキャンパス内に設置



- ・定員1,308名
(国内学生は約350名入居)
- ・レジデントアシスタント(RA)の育成
- ・寮内教育プログラム



APUの学生生活③ 地域連携の取り組み

■ 地域連携

- ・地域/国際交流・地域振興、
- ・災害被災国支援、・ボランティア

四川プロジェクト
報告写真展



地元と協力した
地域活性化事業

国際理解教室への
学生派遣



市民との交流

マルチカルチュラル・キャンパス





APU学生の何が評価されるか？①

- 異質なものとの協働や競争が創造性を高める
- コミュニケーション能力と英語で”伝える力”
- 論理的思考力、批判的思考力
- 「違い」を認め、好奇心を持って受け入れる





APU学生の何が評価されるか？②

- 前に出る積極性、チャレンジ精神と謙虚さ
- 自文化中心主義→自己の文化に誇りをもった異文化理解主義へ
- 当然だが学習を学生生活の柱としていること
- 世界のどこでもタフに楽しく生きていける力

グローバルな人材として社会へ



開学(2000年)⇒10周年のAPU



ご静聴ありがとうございました。

